

田原公民館報

令和2年
10月号



発行人 公益財団法人 奈良市生涯学習財団 田原公民館
〒747-0108 奈良市若荷町1078-1
TEL 81-0888
発行責任者 清原 弘章

「遊びがかわった?」

館長 清原 弘章

私が子どもの頃、近所の友だちとの遊びは、もっぱら鬼ごっこが主流でした。「高おに」「色おに」「警ドロ」など、いろいろな種類の鬼ごっこをしていました。ルールを知っている子が教えながら遊び、その中で新しいルールを作ったりもしました。他にもボールを使った遊びや、秘密基地作りもしました。

小学校の半ばあたりで「ファミコン」を持っている子が増えてきて、友だちの家に集まってテレビゲームをするようになりました。学校の友だち同士の話題は流行っているゲームについて。ソフトの貸し借りなどもあっていました。ちゃんと真にはマジックで名前を書いて。

そして何年か前からは、通信プレイができるポータブルゲーム機の普及で、家の外で友だち同士が集まり、ゲームをしている姿が見られるようになりました。公園や公民館のロビーで顔を突き合わせるようにして各々ゲーム機を操作しながら、しかし一言も発しない様子は、自分の子どものころのゲームをする光景には無かったものでした。一人がゲームをしているテレビの画面を、その他全員が一緒に凝視し、「そこや!」「上から来た!」「あー!」「わかってる!」などと騒がしくも一体感

のあった自分の頃との違いに戸惑いました。しかししばらく見てみると、一段落したのか突然反省会のような会話を始めたか、なんだ会話もしているのかと、少し安心したのを覚えています。

例えば私たちがテレビゲームでばかり遊んでいると「外で遊びなさい!」と言っていた親の感覚は、この時の戸惑いに近いものがあつたのかもしれない。なんとなく自分の時とは違う遊びの姿に、このままでいいのかという不安。「目が悪くなる」「運動不足」などいろいろ子どものことを案じたでしょう。

田原の子たちはどうでしょうか?現代の子どもらしく、ゲーム機でも遊ぶでしょうが、9月の「TAWARAキッズ」で竹細工をした時、のこぎりや竹を割るナタに興味を持ってスタッフに工程の先を急かす子や、「絵を描きたい」とスタッフに自分から申し出る子、手間取っている子の手助けを買って出る子など、その場で自分がどんなことをしたいかを明確に出せる子がたくさんいました。この姿を日ごろから目にしているなら、ご家族もきっと安心して子どもたちの遊ぶ様子を見守っていららるだろうと思います。



9月実施の講座

ファイナダー 越しに観る 田原の自然

日笠町の水仙月さんを会場にお借りして、前2回に撮影した作品の講評を行いました。複数枚の写真と共通のテーマを共有して、各自が思い思いの作品にしてみました。



カメラやスマホの機能を活かしたものの、構図を工夫して撮ったもの、撮影後にパソコンで編集したものまで、工夫を凝らした作品で



した。また、講師の小豆澤さんと青葉仁会の日笠ワーカーさんのご厚意により、手すき和紙に各自のお気に入りの一枚を印刷していただくことができました。

今回の受講生の作品は、11月7日(土)、8日(日)に開催の「田原なんでも文化祭」に出展する予定です。

フチ田舎暮らし・田原 柚子こししょうと ポン酢

昨年大好評を得ている講座で、全2回のうちの1回目として、柚子こししょうを作りました。まず近くの農園で柚子の収穫体験をさせていただきました。大切に育てられた木と、そこに実る立派な果実に、参加者からは「きれい」「良い香り」と声が上がっていました。

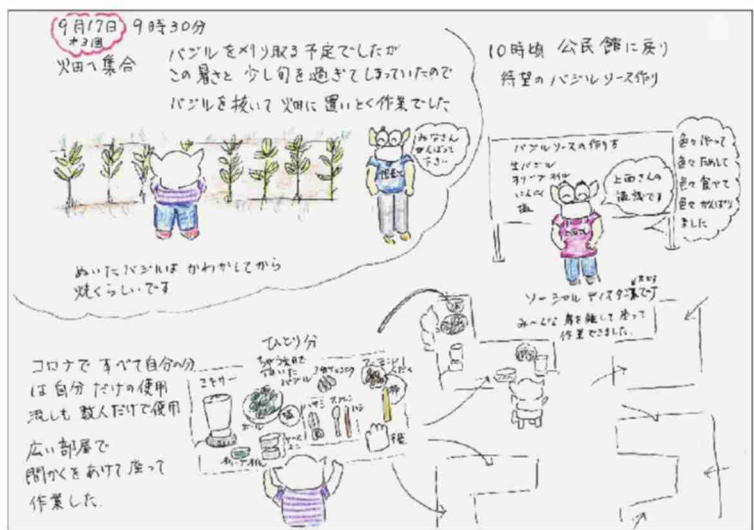
その後公民館に戻って柚子こししょうを作りました。事前に洗っ



て乾かしておいた柚子の皮をむき、その皮を唐辛子や塩と一緒にミキサーに入れて回します。柚子の絞り汁も加えて回すと、さわやかに柚子の香りに満たされました。コロナ禍での開催に悩みましたが、感染症対策を考慮して内容を変更し、また試行・試作を重ねてより良い方法とレシピが完成し、開催することができました。次回11月はポン酢作りです。

フチ田舎暮らし・田原 にんにくと バジル

6月から行っている講座の最終回で、最後の畑作業とバジルソース作りを行いました。最終回ということもあり、バジルをすべて抜いて畑作業の締めとしました。



受講生からいただいたレポートの一部

お詫びと訂正
先月発行の館報9月号表面「皆さんから講座の感想が届きました」にて「家族で星空観察」の感想を書いてくださった方の学年とお名前前に誤りがありました。正しくは「4年生 大谷夏希」さんです。訂正してお詫びいたします。

ちょっと聞かせて!



田原公民館の自主グループ

聞き取り：西久保美文

田原俳句塾 [俳句]

(しおた いくこ 塩田 郁子さん)

▼グループ結成のきっかけは? ●万年青年クラブの集いで、会員から俳句教室をして欲しいとの要望があったので、会長自ら奈良新聞社を訪ね、俳句結社「南柯」五代目主幹の和田桃先生を紹介していただき、交渉の結果、了解を得ることが出来ました。そして平成24年10月、田原俳句塾の発足にいたしました。

▼活動されている苦勞は? ●特に苦勞はございません。みんな楽しく活動しています。

▼活動していて楽しかったこと、印象に残ることは何ですか? ●桃先生のご指導のおかげで、7年の歳月があったという間に流れましたが、今も句会に楽しく参加しています。また、いまだ知らない言葉や漢字の多いこと。先生の添削により、すばらしい句に仕上がって驚くばかりです。そして選句で最高得点をもたらした時は、ずっと俳句を続けていこうという気を取り返させてくれます。

▼グループ以外のみなさんにメッセージをお願いします ●月に一回の句会を田原公民館でやっています。興味のある方はお声をかけて下さいますようお願いいたします。



昨年度文化祭の展示

白あずきの会 [農作業]

(おおたに わたる 大谷 航さん)

▼グループ結成のきっかけは? ●平成28年に田原公民館主催講座「プチ田舎暮らし・田原く小豆作り」が開催され、その終了後有志による自主グループを立ち上げました。立ち上げ時は8名で現在は9名で活動中です。

▼活動の目的は? ●講座の趣旨に則り、奈良市東部地域の自然・歴史・風習・食・技等に触れて田舎暮らしを知り生きがいを感じ、就農のきっかけになるように活動しています。

▼グループ名の由来は? ●公民館のアドバイスで、小豆でもより栽培が難しく高価で独特の風味が特徴の「白小豆」の名を取り入れました。現在は、年を通して途切れることなく、主の小豆・落花生・じゃがいも等10種類以上の作物を植え付け、収穫しています。

▼活動しての苦勞は? ●お借りしている畑が、雨の後は長靴が抜けられない程のぬかるみでしたが、排水溝を作って解決できました。また天候による日程の再調整には苦慮します。

▼印象に残ること、嬉しかったことは? ●普通よく見かける小豆色の小豆以外に、白小豆、パンダ小豆があると知りそれを作付、収穫できたこと。それと公民館のなんでも文化祭で、収穫した小豆でせんざいを販売し、美味しかったとお褒め頂いて完売できたことです。土とのふれあいだけでなく、こんなに楽しく作りや田原地区散策に行ったことです。また畝作りや除草、耕運機や休憩所の手配まで、貸主さんのご配慮に大いに助かっております。



活動風景

神無月 (かなづき/かみなづき)

昔の暦で10月のことをさします。日本全国の神様が、この時期に会議のため出雲に集まり、各地の神様がいなくなるから、というのがよく言われる伝承です。

では、この神様の会議では何を話し合っているのでしょうか?

各地の神様は各々の土地で農作物の出来に係わる天候をつかさどっています。神様たちはこの会議で、作物の出来不出来を話し合い、来年の天候について取り決めるといわれています。また人々の結婚についてもこの会議で話し合われ、こちらの何がしとそちらの誰それを...といったことが行われるそうです。そういうえば出雲大社は縁結びの総本山といわれていますね。離れた地の二人が出会い結婚するのも、それぞれの土地の神様の導きで考えると、なんともありがたく嬉しいことです。

「神無月」の語源には諸説あり、「雷無月」(雷が無い月) / 「神嘗月」(新嘗の準備をする月) / 「醸成月」(新米で酒を醸す月) など(全て「かなづき」)もあります。これも江戸時代の随筆などに見られるもので、生活に密着したものです。それが正解というものはありませんが、神様が集まって、私たちのために話し合ってくれている」と考えるほうが、見守られている様で安心しませんか?

ちなみに、すべての神様が出雲に行かれるわけではなく、家々の守り神としての留守神様は残っておられますし、道祖神、いわゆるお地藏様もいらっしやいます。この間に少し羽目を外して...と思われた方は、ほほほほ。



奈良市都祁保健センターからのお知らせ

○特定健康診査、各種がん検診 (集団方式)

特定健康診査	胃がん・肺がん・大腸がん検診	肝炎ウイルス検診
日時	11月10日(火)・11日(水) 受付時間 午前 8時30分~10時30分	
対象	国民健康保険加入者で40歳~74歳の方	令和3年3月末現在で40歳以上の方
費用	胃がん 1,000円 肺がん 500円 (喀痰検査は600円追加) 大腸がん 1,000円	無料
申込期間	10月20日(火)まで	

○妊婦さんとママとパパと赤ちゃんの交流会

日時	11月20日(金)、12月18日(金) 10時30分~12時
内容	妊娠・出産・子育ての情報交流、親子遊び
場所	つどいの広場りりーべらず (都祁福祉センター内)
対象	妊婦さんとその夫 及び 1歳未満のお子さんとその保護者
申込期日	開催日の1週間前まで

※今後の新型コロナウイルスの感染状況によって中止となる場合があります。

申込・問合せ
奈良市都祁保健センター
TEL 0743(82)0341

10月の公民館行事とその他のお知らせ

- 3日(土) 田原ファンクラブ③
- 14日(水) はじめてのキーボード①
チャレンジ和太鼓⑧
- 16日(金) 老春塾⑤
- 24日(土) TAWARAキッズ④
- 28日(水) はじめてのキーボード②
チャレンジ和太鼓⑨

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、さらに延期・変更・中止することがあります。

